

助成事業完了報告書

日本財団 会長 笹川 陽平 殿

報告日付：2019年4月15日
事業ID：2017453947
事業名：ジュニア・ライフセービング教室の開催
および指導者養成プログラムの実施等
団体ID：258890
団体名：（特非）日本ライフセービング協会
代表者名：理事長 入谷拓哉
担当者名：川地政夫
TEL：03-3459-1445
FAX：03-3459-1446
事業完了日：2019年3月31日

事業内容：

- 【1. ジュニア・ライフセービング教室/ライフセービングサポーター講習会の開催】
「ジュニア・ライフセービング教室」「ライフセービングサポーター講習会」を通じて子どもたちまたは保護者等が安全で楽しく水辺で遊ぶ方法等のウォーターセーフティー、あるいはBLS（一次救命処置）等を身につけ、またそれらを通じて人命の尊さや自然の大切さを学ぶことの出来る機会を提供し、水辺の事故防止に結び付けることを目的とした。
- 【2. 指導者養成プログラムの実施】
指導者資格の本格的な制度実施により、指導者養成を促進し海洋教育の普及をはかった。

事業成果物：

1. ジュニア・ライフセービング教室

- 目標
 - 25ヶ所×20人=500人
- 実施結果
 - 16ヶ所
 - 参加合計 953人
- 開催概要
 - 期間：2018年4月～2019年3月
 - 内容：生命教育を軸に、海の安全についての基礎知識を学び、海での自己防衛技術、人命救助術を体験。ビーチフラッグス競技、ジュニアボードレース等も実施し、海を楽しみながら安全意識の啓蒙を図った。
 - 対象：小学生・中学生、場合によってはその保護者も対象とした
 - 場所：各クラブの活動浜またはプール、学校施設等
 - 支援物件：
 - ◇ 各クラブ支援；ジュニア用ボード2本／ジュニアテキスト配布／ジュニアキャップ配布

- 実施報告

| No | 開催クラブ | 参加数 | 開催日 |
|----|-------------|-----|--------------------------|
| 1 | 小樽 LSC | 17 | 7/15, 16, 22, 29 8/5, 11 |
| 2 | 盛岡 LSC | 12 | 8/8 |
| 3 | 山形 LSC | 18 | 7/28, 29 |
| 4 | 岩井 LSC | 30 | 8/11 |
| 5 | 勝浦 LSC | 20 | 8/5 |
| 6 | 九十九里 LSC | 12 | 8/11 |
| 7 | 横浜海の公園 LSC | 26 | 8/5 |
| 8 | 西伊豆松崎 LSC | 10 | 7/7 |
| 9 | 京都 LSC | 15 | 7/22 |
| 10 | 岡山 LSC | 33 | 8/12 |
| 11 | 関門 LSC | 6 | 7/13 |
| 12 | 萩 SLSC | 596 | 7/1~8/19 |
| 13 | 徳島 LSC | 16 | 8/9 |
| 14 | 新宮 LSC | 44 | 8/4, 5 |
| 15 | 宮崎 LSC | 52 | 7/15, 8/8 |
| 16 | 鹿児島国際大学 LSC | 63 | 7/1, 7/16 |
| | 合計 | 953 | |

- 得られた成果

- ジュニア教室については、目標の500人を上回る953人となり、子供たちに海の知識や安全思想、セルフレスキュー等を普及できた。

- 成功要因

- 単発的な教室が多い中、「萩SLSC」は夏休み期間を通じた長期的な取り組みが集客につながった事例があった。また、「徳島LSC」では地元B&G財団と連携した教室の開催や、「関門LSC」は昨年引き続き学校教育への普及を積極的に実施しており、海だけでなく学校のプールでの実施も継続開催があった。

- 失敗要因

- 実施クラブの固定化、及び、単発型開催方法が課題である。

2. ライフセービングサポーター講習会（体験講習会）

- 目標

- BLS(CPR+AED)講習 100ヶ所×30人=3000人
- Water Safety講習 100ヶ所×30人=3000人

- 実施結果

- BLS(CPR+AED)講習 88ヶ所 6907人 により達成できた。
- Water Safety講習 50ヶ所 4578人 により達成できた。

- 実施報告

| | 2018年 開催数 | 2018年 発行数 | 2017年 開催数 | 2017年 発行数 | 2016年 開催数 | 2016年 発行数 | 2015年 開催数 | 2015年 発行数 |
|------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|
| BLS | 88 | 6907 | 79 | 5744 | 86 | 6240 | 113 | 7502 |
| ウォーターセーフティ | 50 | 4578 | 60 | 7330 | 42 | 5972 | 45 | 6505 |
| 合計 | 138 | 11485 | 139 | 13074 | 128 | 12212 | 158 | 14007 |

- 得られた成果

- ライフセービングサポーター講習会は、資格認定講習会とは異なり、体験・啓発型の講習会として時間や内容を指導員の判断で柔軟に対応できる普及講習会である。受講費用は無料であるため、企業や教育機関においても比較的導入しやすいものとなっている。

- 成功要因

- JLA指導員には学校教員が多いため、学校内での開催が主となっている。そのため、集客やPRにあまり手間をかけずに一度に多くの人数に対して普及できた。

- 失敗要因
 - 訓練用人形とAEDトレーナーの器材不足が発生している。

3. 器材および教材の配備

- 目標

| | |
|----------------------|-------------------|
| (1) ニッパーボードの配布 | < 40本=2本×20ヶ所 > |
| (2) Jrキャップの配布 | < 400枚=20枚×20ヶ所 > |
| (3) Jrテキスト | < 3000冊 > |
| (4) Water Safetyテキスト | < 3000冊 > |
| (5) Jrパンフレット | < 3000部 > |
| (6) Academyパンフレット | < 10000部 > |
| (7) Academyチラシ | < 10000部 > |
| (8) ライフセービングサポーター修了証 | < 10000枚 > |
| (9) ジュニア教育指導指針改訂版 | < 500冊 > |
- 実施結果
 - (1) ニッパーボード：16ヶ所×2本=32本。残8本は本部管理。
 - (2) Jrキャップ：16ヶ所×20枚=320枚。残80は本部管理。
 - (3) Jrテキスト：2950冊を配布（ジュニア教室に1000冊、その他の各種事業等に1950冊）
 - (4) Water Safetyテキスト：公益財団法人への転換にともない製作を2019年度に見送った。
 - (5) Jrパンフレット：2950冊を配布（ジュニア教室に1000冊、その他の各種事業等に1950冊）
 - (6) Academyパンフレット：公益財団法人への転換にともない製作を2019年度に見送った。
 - (7) Academyチラシ：公益財団法人への転換にともない製作を2019年度に見送った。
 - (8) ライフセービングサポーター修了証：11485枚（BLS/6907枚、WS/4578枚）を配布した。
 - (9) ジュニア教育指導指針改訂版：250冊製作した。
- 得られた成果
 - ジュニア教室はじめ、資格認定講習会、各種イベント、学校をはじめとする教育機関を通じて広く配布できた。
- 成功要因
 - 手軽に配布できる教材としてジュニア教室はじめ各種事業の実施の際に配布するようにしている。ジュニアテキストは海上保安庁や日本水難救済会等の発行物に一部引用いただくなど利活用に広がりが出てきている。
- 失敗要因
 - 公益財団法人の法人格の変更と重なったため、組織名称変更や講習会料金変更が生じたため、当初予定の製作物の印刷製本を見送らざるを得ない製作物が発生した。
 -







4. 指導者養成プログラムの実施

- 目標
 - (1) 「ジュニアリーダー養成講習会」の開催
 - (2) 「指導員養成講習会」「指導員研修会」の開催
- 実施結果
 - (1) 「ジュニアリーダー養成講習会」の開催
ジュニアリーダー養成関連の「ジュニア・ライフセービング アシスタントインストラクター養成講習会」開催し、59名を養成した。

| 日程 | 会場 | 合格者 |
|--------|-----------------------|-----|
| 5月14日 | 岩井海岸（千葉県） | 19 |
| 6月17日 | 専修大学生田キャンパス（東京都） | 19 |
| 12月9日 | 浜松町 sharemee 会議室（東京都） | 5 |
| 12月16日 | まいづるベイプラザ（京都府） | 16 |
| | 合計 | 59 |

(2) 「指導員養成講習会」の開催

【BLS 指導員養成講習会】

| | 日程 | 時間 | 会場 | 合格者 |
|-------|----------------------|------------|----------------------------|-----|
| 2018年 | 4月14日、22日 | 9:00~17:00 | 札幌市ポセイドン会議室 (北海道札幌市) | 3 |
| | 11月23日、24日、25日、12月1日 | 9:00~17:00 | 湘南海岸公園サーフビレッジ (神奈川県藤沢市) | 5 |
| 2019年 | 1月12日、13日、19日、20日 | 9:00~17:00 | シーオーレ新宮 (福岡県新宮市) | 6 |
| | 1月12日、13日、19日、20日 | 9:00~17:00 | 三保研修会館 (静岡県静岡市) | 10 |
| | 1月26日、27日、2月2日、3日 | 9:00~17:00 | 明治国際医療大学 (京都府南丹市) | 3 |
| | 2月2日、3日、10日、11日 | 9:00~17:00 | 湘南海岸公園サーフビレッジ (神奈川県藤沢市) | 2 |
| | | | 合計 | 29 |

【サーフライフセービング指導員養成講習会】

| | 日程 | 時間 | 会場 | 合格者 |
|-------|---------------|------------|-------------------|-----|
| 2018年 | 4月28日、29日、30日 | 9:00~17:00 | 三浦海岸 (神奈川県三浦市) | 18 |
| | 5月3日、4日、5日 | 9:00~17:00 | 静波海岸 (静岡県牧之原市) | 8 |
| | | | 合計 | 26 |

【ジュニア・ライフセービング指導員養成講習会】

| | 日程 | 時間 | 会場 | 合格者 |
|-------|-----------|------------|-------------------------|-----|
| 2019年 | 3月16日、17日 | 9:00~17:00 | オリンピック記念総合センター (東京都) | 4 |
| | | | 合計 | 4 |

【指導員研修会】

| 日程 | 日程 | 時間 | 会場 | 参加者 |
|-----|----------------|-------------|-------------------------|-----|
| A日程 | 2019年2月1日(金) | 12:00-16:00 | 神明いきいきプラザ (東京都港区) | 32 |
| B日程 | 2019年2月9日(土) | 12:30-16:30 | シーオーレ新宮 (福岡県新宮町) | 13 |
| C日程 | 2019年2月10日(日) | 12:00-16:00 | きらめきプラザ大会議室 (岡山県岡山市) | 8 |
| D日程 | 2019年2月11日(祝月) | 12:00-16:00 | 大阪ハイテクノロジー 専門学校 | 29 |
| E日程 | 2019年2月16日(土) | 17:45-21:30 | 神明いきいきプラザ (東京都港区) | 53 |
| F日程 | 2019年2月18日(月) | 13:00-17:00 | 北谷公園水泳プール (沖縄県北谷町) | 9 |
| G日程 | 2019年2月23日(土) | 13:00-17:00 | マッターホルン (静岡県静岡市) | 20 |

| | | | | |
|-----|----------------|-------------|-----------------------------------|-----|
| H日程 | 2019年2月24日(日) | 13:15-17:00 | 神明いきいきプラザ (東京都港区) | 54 |
| I日程 | 2019年2月25日(月) | 12:00-16:00 | オリンピック記念青少年 総合センター(東京都渋谷 区) | 44 |
| J日程 | 2019年3月9日(土) | 13:00-17:00 | PARM-CITY 131 貸会議室 (宮城県仙台市) | 9 |
| K日程 | 2019年3月21日(祝木) | 13:00-17:00 | 柏崎市民プラザ (新潟県柏崎市) | 13 |
| L日程 | 3月16日(土) | 18:00-22:00 | 北海道青少年会館コンパス (北海道札幌市) | 10 |
| | | | 合計 | 294 |

● 得られた成果

- 「ジュニアリーダー養成講習会」 59名
- 「指導員養成講習会」
 - ◇ BLS指導員養成講習会 29名
 - ◇ サーフライフセービング指導員養成講習会 26名
 - ◇ ジュニア・ライフセービング指導員養成講習会 4名
- 「指導員研修会」 294名

● 成功要因

- 昨年よりも都道府県支部/協会の協力体制が整いつつあり、日程が重なった場合でも開催することが可能となってきた。引き続き、都道府県支部/協会との共催の体制整備を進めたい。

● 失敗要因

- 道府県支部/協会での開催の場合の資器材の支援がさらに必要である。

【サーフライフセービング指導員養成講習会】 【BLS指導員養成講習会】



【サーフライフセービング指導員養成講習会】



【ジュニア・ライフセービング指導員養成講習会】



【指導員研修会】



5. ジュニア・ライフセービング教育の実態調査

- 目標
 - (1) ジュニア教室実施クラブへのアンケート調査の実施
 - (2) アンケート調査報告書作成（学校教育等への導入に向けた提言）
- 実施結果
「ジュニア・ライフセービング教育の実態調査報告書」
- 得られた成果
 - 実態調査アンケートを加盟全クラブ136を対象とし、76クラブ（53.9%）の回答を得た。
 - 回答のあった76クラブのうち、50クラブ（65.8%）がジュニア活動を実施していた。
 - 回答を得たクラブを4か所選定し現地調査を実施した。
- 成功要因
 - 調査用紙での実施ではなくインターネットを使っでのアンケートを実施したことで回答が簡易となった。
- 失敗要因
 - アンケートの回収率を上げる必要があり、回答への呼びかけをさらに各クラブに働きかける必要がある。

（以上）